

令和5年度 第10回さぬき市地域未来づくり会議 会議要旨

開催日時	令和6年2月27日（火）午後7時～午後9時
場 所	さぬき市役所附属棟 多目的室
出席者	[委員・コーディネーター] 計4名 折原委員、長町委員、池田委員、黒川コーディネーター
	[事務局] 計4名 向井審議監、プロジェクト推進室：大山室長、原田室長補佐、谷本主任主事
欠席者	砂川委員
傍聴者	3名
次第	1 開会 2 さぬき市における官民連携の検討について 3 その他 4 閉会
配布資料	次第
発言者	意見概要
座長	今日は一年の振り返りをしながら、市長に報告する際には、この会のこれまでの流れを伝えながら報告ができれば良いと考えている。今日は資料を作り切るというよりは、何を伝えるのかという部分の整理を中心にしていきたい。最初にこれだけは絶対に伝えた方が良くと思うものはないか。
委員	この会議で扱ったさぬき市の課題である「人口減少（移住・定住）」、「空き家」、「情報発信」の部分は伝えてはどうか。
委員	今の段階で決まっている官民連携のサイトを作ることを報告できれば良いと思う。
座長	サイトについては、官民連携の事例をまとめることと、問い合わせの窓口を明記することであったと思う。
委員	課題に公共空間の活用と官民連携を追加して欲しい。
座長	イメージとしては、課題に対する解決策として、官民連携の部分が薄いという流れになると思う。
委員	「情報発信」や「移住・定住」に対して民間の力を借りることはできないか、という話から官民連携の方向に議論が流れていったと思う。
座長	あとはサイトを作成した後の取組として、民間提案制度の話をすることもできると思う。実際、サイトを見た人からの問い合わせが多くあれば、審査の仕組みが必要だ

	という話になり、民間提案制度に近い形にシフトしていくのではないかと思います。
委員	市長や市役所の職員に協力いただきたい部分も提案できれば良い。
座長	まずサイトに関しては事例を集めることとしたい。
委員	サイトの運営管理はどうなるのか。
事務局	連携協定の窓口は政策課なので調整が必要である。
委員	政策課が窓口だと分かるサイトができたら良いと思う。窓口の見える化を目的としたホームページであれば良いと思うので、プロジェクト推進室が官民連携の事例と担当部署を取りまとめていただければ分かりやすいと思う。
座長	サイトには連携協定だけを掲載するだけでなく、官民連携の仕組みを載せることが重要だと思う。
事務局	担当する課がどこになるかはともかく、窓口を一本化することは必要だと思う。
委員	市が持っている情報でサイトの作成に使えるものがあれば使わせていただきたい。
座長	官民連携の民の部分のサイズ感はどの程度かというところが結構大事だと思っていて、市長が描く官民連携の民の部分はどの程度の規模感を持っているのかが分かれば、サイトに掲載する事例の参考になると思う。
事務局	さぬき市での官民連携の事例をまとめるという認識で良いか。
座長	そうだ。それを更新していくことが大事だと思っている。先日あった市のサッカーグラウンドの照明設備を寄附してくれる例などは、これまで検討してきた民間提案制度のイメージとしては近いと思う。ただ規模で言えばかなり大きな規模なので、その幅はもう少し色々な事例を探せると良いと思う。例えば、ボランティアの方が長年掃除していただいていることもそうだし、毎年市が後援をしているようなイベントなどもあると思う。後援も民間側からするとありがたいサポートの一つだと思う。理想としては6事例ぐらい欲しいが、まずは、大きな取組、中くらいの取組、個人団体レベルの取組の最低3種類ぐらいあると、見る方からしても、「こういったものでも問い合わせが良いのか」という風になりやすいと思う。
事務局	それは連携協定があるなしに関わらずということか。

座長	連携協定は関係なくても良いと思う。寄付も近いと思う。
事務局	連携協定ではなく市の財政的な負担なく取り組んでいる事例としては、スマホ教室がある。あと、市民課の前の受付の番号札発券機もそうだ。
座長	事例も市長への報告の中に入れるとイメージしやすいかもしれない。
委員	サイト作成のベースとして、規模は違うが「よこらぼ」の画面がデモ的に見ることができたらイメージしやすいと思う。
座長	もう少し小さな任意団体のイベント等もあっても良いと思う。
委員	津田の松原のイベントはどうか。
事務局	市の補助金を受けている。
座長	補助金や助成金を受けて行っているものは少し意味合いが違うと思う。
委員	ランタン祭りはどうか。
事務局	観光協会の事業になる。
座長	廃校や公共施設を使っている事例があれば良い。
委員	例えば、民間のボランティア団体が小学校や幼稚園に行ってイベントをすることは事例の一つにはならないか。その際の間い合わせはどこなのか。
座長	学校が窓口になっていると思う。窓口が分かりにくいものの方が事例としては向いていると思う。任意団体や協議会からプロジェクト推進室へ問い合わせがあるケースは多いのか。地元企業の事例もあっても良いと思う。
事務局	場所の提供という話であれば、津田の港で行ったイベントがある。許可と後援を行っている。そういう話であれば他にもあると思う。
委員	分かる範囲で確認いただきたい。
座長	サッカーグラウンドとスマホ教室について、使っても良い写真はあるか。

事務局	スマホ教室の写真はある。
委員	PRサポーター制度は有償なのか。
事務局	一部財政的な支援をしている。
委員	市長への報告の際にスライド後に質問する機会があるのならば、この会についてどう思っているのかは聞いてみたい。
委員	市長が何を望んでいるのか、どういったところを目指してほしいのか、といった未来会議に対する要望を聞いてみたい。
座長	逆に行政サイドとして、こういう場にしたら良いのではないか、という考えはあるか。
事務局	立ち位置としては、このメンバーで会議が立ち上がり、官民連携の仕組みを作り上げていく主体となっているという認識でいるが、官民連携のサイトを実際に運用していくのは市の方だと思っている。
委員	この会議で議論したことを要望として市に出した場合に、できないということにならないか。市でできない理由があるのであれば、それを伝えていただけたら良いが、ただ何も言わずできないとか、そこは変えるべきではないとかということではなく、柔軟な気持ちで見守っていただきたい。
座長	意見交換や質疑応答のところでそういう話が出るかもしれない。
委員	未来会議に対する要望のところでそういうことを確かめることができるかもしれない。
委員	どこかの部署を窓口にするとしても、市長の理解や協力がないとできないことだと思う。
委員	この未来会議のような取組をしているところは香川県にはないと思う。
座長	それを先陣切ってできることは一番良いと思う。
事務局	サイトに載せただけでは難しいと思うがいかがか。
座長	広報の部分はまだ話し合えていないところだと思う。サイトの作成と広報をどうす

	<p>るか。チラシはあっても良い気がする。たださぬき市に置いておくだけだと意味がない。提案をしても良いのかどうかとと思っている方に届けたいので 市役所以外に置くことが大事だと思う。</p>
委員	<p>やっぱりインスタグラムのようなSNSが若年層には届きやすいと思う。</p>
座長	<p>さぬき市が運用しているインスタグラムは、地域おこし協力隊や観光協会のアカウントになってしまう。</p>
委員	<p>インスタグラムは入口が狭い感じがする。ただ、インフルエンサー的な立場の人に広めてもらうことができれば話は別だ。</p>
事務局	<p>今後、民間提案制度を検討していくに当たって、先進自治体の取組を参考にする必要があると思う。</p>
委員	<p>他市では開発関係課や建築、環境関係課など企業誘致に必要な相談窓口を調整し、相談に応じているなど窓口の一本化を図っているので、方向性としては違っていないのではないかと思う。また、さぬき市にも人脈が豊富な方が多くいるが繋がっていない。その方達がさぬき市に興味を持っていただいて、市としてもそれを受け入れる体制があれば良いと思う。</p>
座長	<p>民間連携の仕組が必要だということの一つが窓口の一本化であるが、それ以外にも行政の方が民間側の会議に参加するようなことも必要だと思う。あと、市長から「ここはどう思っているのか」「ここはどうするのか」みたいな質問も出ると思う。個人的にはサイト以外の方法をもう少し広く考えた方が良いと思う。</p>
委員	<p>官民連携制度のフローの話をした時に案も作っていたと思うが、それは今までの会の経緯に入るか。</p>
座長	<p>民間提案制度に関しては盛り込んでも良いと思う。最初はハードルの高い窓口を作ろうとしていたが、ハードルの低い窓口が必要だということに方向転換をして、その結果、案として出てきたものがサイトという流れにしたい。</p>
委員	<p>この流れの中で、会議の最初の頃に出ていた「作り手率」の話を入れてもらえないか。市長が期待しているところはそのところではないかと思っていて、それが民間の力を借りることに繋がってくると思う。</p>
座長	<p>直接課題を解決するよりは「作り手」が増えるような動きにフォーカスするということを盛り込みたい。構成がこれで問題がなければ、次回スライドを作っていく、</p>

	今日の残り時間は実際に運用する際のことを考えることに使いたい。次に考えないといけないことは広報の部分だと思う。
委員	現状として、広報で手が届く範囲と理想でこういうことをしたいということはあると思う。
座長	個人的にはうどん屋にサイネージを置きたい。あのポジションが市の情報を自由に発信するには良いと思っている。頭が仕事モードの方が来るイメージがあり、情報が入りやすいと思う。提案場所を探している人向けのものもあって良いと思う。最近はお県の方から話をいただくこともたまにあるので、香川県が運営しているワーキングスペースや移住の相談窓口とかに置くことも考えられる。
委員	姉妹都市の協定を結んでいるところはどうか。
座長	たくさんの人目に触れる場所で、かつ、何かをしたいと思っている人がたくさんいそうなのが理想だ。SNSだと運用の問題があるのでチラシなどの設置する形は相性が良い気がする。あと、先進自治体は、行政主導の取組にメディアの取材が入っているイメージがある。また、地域の団体からの相談がないことが良いのか悪いのかというところはある。聞いていないけど文句を言っているイメージがどうしてもある。
委員	そういう人たちも掘り起こせたら良いと思う。
事務局	何でも市への要望として受け付けるものなのかといった問題はある。あと、企業の営業の話はどうか。
座長	企業の営業の話はシンプルで、市が費用負担をしない取組に限ることを条件とすることで良いと思う。
委員	広報紙やSCNでさぬき市の情報を知るが、市内に限定されている。
委員	私の友人が少し前に高松ロータリークラブに行って話をする機会があったそうだが、そういったところに当たってみても良いのかもしれない。
委員	自己啓発系のセミナーをされている企業であれば、社長しかいないので直ぐに広げていける気がする。ゴルフ場とかは県外の方が来られていて、ふるさと納税の自販機も置かれているので市外の需要があると思う。
座長	チラシの印刷代とかの予算は出るのか。

事務局	予算はないが市で印刷はできる。そのチラシは商工会関係に配布するイメージか。
座長	商工会の会報に挟み込んでいただければと考えている。無理であれば商工会においでいただけても良いと思う。商工会の方が知っていることが大事だと思っている。可能であれば、商工会の担当の方が訪問した際に説明していただくことができれば良いと思う。詳しいことはQRからサイトへ誘導すれば問題ないと思う。あと、掲載する事例の写真を確認いただきたい。
委員	今出ている3つの事例以外にも良い事例があれば勧めていただきたい。
座長	今日の情報は欠席している砂川委員にも共有させていただいて、次回でスライドを作成していきたい。市長への報告はどのタイミングになるか。
事務局	4月頃を予定している。
座長	今年度中にスライドを作成して、4月に市長へ報告することとしたい。この会議の来年度の年間スケジュールはどのタイミングで考えておいた方が良いのか。市長に報告してから決まる部分があるとは思いますが。
事務局	市長に報告してからが良いと思う。
座長	4月の会は市長への報告会という形でいきたい。次回は資料をまとめる形になると思うので、よろしく願いしたい。 以上で、本日の会議は終わりたいと思う。 お疲れ様です。
	～閉会～